

岡山から米子を結ぶJR伯備線のちょうど中間ぐらいに方谷駅がある。日本で最初に人の名前が付いた駅である。山田方谷は教育者としても知られている。この駅のところに方谷の長瀬塾があった。長瀬藩の河井継之助が方谷の財政再建成功のうわさを聞きつけてわざわざ新潟から訪ねて来たのである。長瀬塾は方谷が財政再建に成功した後に移住して作った塾である。

### 緑地帯 野島 透

方谷は藩校有終館の校長のときに私塾「牛薨舎」を立ち上げていた。この塾からは大正天皇の侍講などを歴任した二松学舎創立者の三島中

利通からの大蔵大臣就任の要請を断り、閑谷学校(備前市)を再建するなど子弟教育に力を入れた。

塾ではどんなに逆境であつても夢(大志)を持つことの重要性を教

#### 山田方谷の夢実現へ ⑧

つことの重要性を教

洲、女子教育の先駆者の福西志計子たちが出ている。福西は社会福祉運動の中心となつた留岡幸助や山室重平(救世軍)に多大な影響を与えた。明治維新後、方谷は大久保

えた。その結果、多士済々の弟子が出ている。江戸末期の閉塞感と現代の状況は似ているといわれている。そういう時こそ、財政再建を成功させ、夢を持つ重要

性を説いた方谷の生き方や周囲の人々の生き方は現代人の道標となる。方谷の最後の言葉は「人は夢を持つことが肝心なり。されど夢を実現せんとすれば先ず自ら努力することを忘るべからず。唯、必ず我が夢は叶うと信じるのみ」である。この言葉を信じて努力すれば日本に必ず明るい将来が来ると確信している。(財務省大臣官房会計課長 東京在住) 〓おわり